



# 新刊案内



2020年12月18日発売

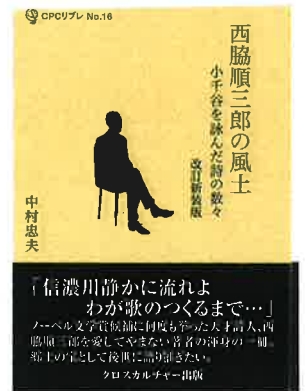
エコーする〈知〉

## 西脇順三郎の風土

### 小千谷を詠んだ詩の数々【改訂新装版】

- 著者:中村忠夫(中村内科消化器科医院院長・西脇順三郎を偲ぶ会会長)
- 体裁:A5判・並製 190頁【CPCリブレ No.16】
- 定価:本体2,000円+税 ISBN978-4-908823-79-4 C0095

ノーベル文学賞候補に何度も挙げられた小千谷が生んだ天才詩人、西脇順三郎を愛してやまない著者の渾身の一冊。西脇順三郎の故郷を詠んだ詩篇の優しい解釈ばかりではなく、写真やイラストを駆使して背景をも紡ぎ出した、もう一つの卓越した西脇文学論。



【目次】改訂新装版・序文 太田昌孝 はじめに <第1章> 西脇順三郎の略歴と西脇詩の特長  
 <第2章> Ambarvalia(昭和8年 40歳)<第3章> 旅人かへらず(昭和22年 54歳) <第4章> 近代の寓話(昭和28年10月 60歳) <第5章> 第3の神話(昭和31年11月 63歳) <第6章> 失われた時(昭和35年1月 67歳)  
 <第7章> 宝石の眼り(昭和38年3月 70歳) <第8章> 禮記(昭和42年 74歳) <第9章> 壞歌(昭和44年 76歳)  
 <第10章> 鹿門(昭和45年 77歳) <第11章> 人類(昭和45年 77歳から昭和53年 85歳) <第12章> 小千谷に残された校歌や詩碑など 参考文献 あとがき 改訂新装版よせて

【改訂新装版・序文からの抜粋】 「脳髄を永遠に結び付けた天使」  
 「いまや 飲まんかな いまや 足かるやかに 大地を踏みならさんかな」(ホラチウス『頌詩』・第1巻37)。  
 ここ1年半ほど前から中村忠夫氏と話すたびに、このホラチウスの詩行が私の胸に浮かぶ。西脇順三郎が詩集『Ambarvalia』の扉詩、「コリコスの歌」に登場させた女神ミューズは、詩を書く者に「神託」を授け、言葉の祝祭に招き入れる。まさに中村氏はこのミューズに魅せられた誇り高き越後の医師であり、西脇愛好者でもある。  
 —太田昌孝(名古屋短期大学教授)

【著者略歴】昭和19年新潟県小千谷生まれ。新潟大学医学部卒。小千谷総合病院を経て平成9年より小千谷市内に開業。平成27年第9回新潟県文化賞(文芸部門)受賞。

- 好評既刊 加藤孝男・太田昌孝共著『詩人 西脇順三郎 その生涯と作品』(定価:本体1,800円+税 ISBN978-4-908823-16-9)
  - 好評既刊 加藤孝男・田村ふみ乃共著『歌人 中城ふみ子 その生涯と作品』(定価:本体1,800円+税 ISBN978-4-908823-72-5)
- クロスカルチャー出版 〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-7-6 電話 03-5577-6707 ファクス 03-5577-6708

書店印	発行:クロスカルチャー出版 TEL:03-5577-6707 FAX:03-5577-6708
	<b>西脇順三郎の風土</b> 小千谷を詠んだ詩の数々 ■定価:本体2000円+税 【改訂新装版】 ISBN978-4-908823-79-4 C0095
冊	